

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公表番号】特表2007-520331(P2007-520331A)

【公表日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2007-028

【出願番号】特願2006-538874(P2006-538874)

【国際特許分類】

B 03 C 1/00 (2006.01)

B 03 C 1/02 (2006.01)

【F I】

B 03 C 1/00 A

B 03 C 1/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月3日(2007.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

磁性粒子を分離するための装置(2)であって、磁性粒子の入っている容器の中に挿入される整列された複数の磁石(3)を含み、その内のいくつかの磁石(3)が逆向きに配置されていることを特徴とする分離装置。

【請求項2】

前記磁石(3)の約半分が逆向きに配置されていることを特徴とする請求項1に記載の分離装置。

【請求項3】

一つ置きの磁石(3)が逆向きに配置されていることを特徴とする請求項2に記載の分離装置。

【請求項4】

前記磁石(3)は、複数個の磁石を有するいくつかの列に配置されていることを特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載の分離装置。

【請求項5】

前記磁石(5)は、単一の部品(2)を形成するために結合されていることを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載の分離装置。

【請求項6】

前記磁石(3)は、永久磁石からなり、その長さ対直径の比が少なくとも2対1、あるいは少なくとも5対1であることを特徴とする請求項1ないし5のいずれかに記載の分離装置。

【請求項7】

磁性粒子を分離するための装置(1)であって、磁性粒子の入っている容器の中に挿入される整列されたいいくつかの磁石(3)を含む垂直方向に移動可能な分離装置(2)を含み、その内のいくつかの磁石(3)が逆向きに配置されていることを特徴とする分離装置。

【請求項8】

それぞれの磁石(3)を挿入するためのウエル形状のケーシング(8)を含むことを特

徴とする請求項 7 に記載の分離装置。

【請求項 9】

前記ケーシング(8)は、単一の部品(7)を形成するために結合されていることを特徴とする請求項 8 に記載の分離装置。